

金融広報中央委員会では、「金融経済教育推進会議」などを通じて関係団体と連携して活動しています。



一般社団法人 投資信託協会

金融リテラシー向上と

投資信託やREITの正しい理解を目指して

当協会は、投資信託やREIT（不動産投資信託）の運用会社を正会員とする協会です。金融商品取引法上の認定協会として、自主規制の制定、会員調査、投資家からの苦情相談、啓発・普及等の活動を行っています。啓発・普及活動は、金融・証券教育が学校教育の場です及するための支援活動と、社会人に対して投資信託やREITの正しい理解が進むことを目的とした啓発活動の二つを行っています。主なものを紹介します。

1. 学校教育向け支援活動

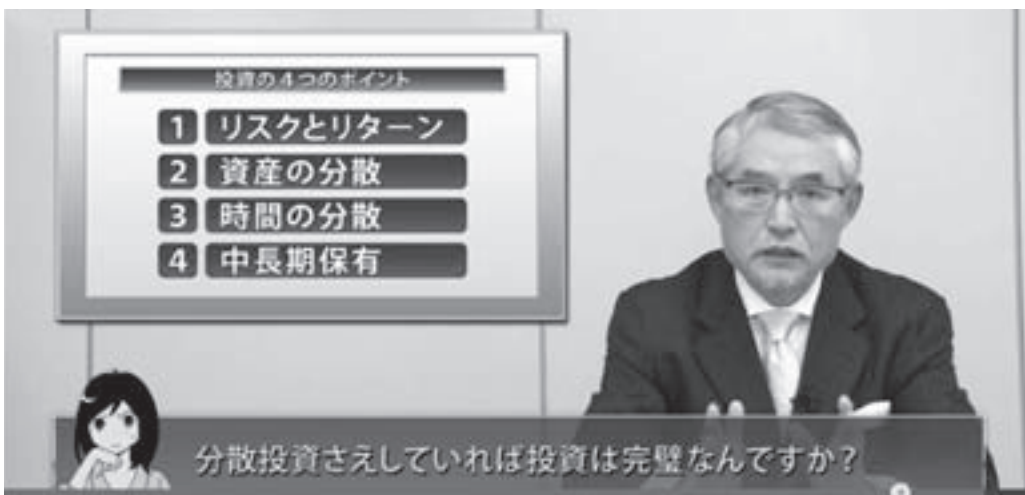
最近、「投資信託」に関する関心が高まっており、各大学からも当協会に対し、講師派遣の要請をいただくことが増えています。これから社会人として生きていく若者に対し、お金の関わり方や貯蓄と投資との違い、投資信託の仕組みや役割に関する講義などを通して、大学生として必要な金融リテラシーの習得を支援しています。ある大学では、学生の方々がそれぞれ投資信託について調べたことを発表し、その内容をもとに、私たちが取引の実情等について解説し、理解を深めてもらうこ

とに取り組んでいます。また、他の金融関係団体等とともに、金融リテラシー論の講座の一翼も担っています。

2. 社会人向け啓発活動

社会人の皆さん向けには、ホームページ (<http://www.toushin.or.jp>) に投資信託やREITに関する各種コンテンツを掲載しています。最新の映像コンテンツである『知っておきたい！投資の基本』は、投資を行う上での大切なポイントとして、①リスクとリターン、②資産の分散、③時間の分散、④中長期保有について、動画で解説しています。

また『投信総合検索ライブラリー』では、ファンド名やキーワード、商品分類等を入力すると、その商品の基準価額やリターン、純資産総額、信託報酬などが表示されるほか、任意の期間や金額を指定してリターンを計算することもできます。投資信託は、商品の選択や購入、売却を、自身の判断で行う必要がありますのでこのライブラリーをその支援ツールとして、是非ご利用ください。



知っておきたい！投資の基本（前編）

株式会社 日本取引所グループ

金融商品市場開設者として、 幅広く金融リテラシー向上を支援

日本取引所グループ（JPX）は、東京証券取引所を始めとする金融商品市場の開設者としての事業特性を活かし、中立・公正な立場から金融経済教育に継続的に取り組んでいます。

社会人向けには、「JPXアカデミー」を開講しており、各種講座を提供しています。投資未経験者や投資初級者向けには、株式等の上場金融商品に関する基礎知識を習得しリスクを理解していただくとともに、財務情報の利用方法や分散投資の考え方、経済の見方などを解説する講座を設けています。2013年度においては延べ5,600名を超える方々の参加をいただきました。

生徒・学生向けには、小中高校生を対象に株式会社の仕組みや金融の役割についてロールプレイングで楽しく学べる授業プログラムを提供するとともに、大学生には金融経済や証券市場の理解を深めていただくための講義を行っています。これらは、取引所施設の見学に合わせて実施したり、当社講師が

学校に赴き出前授業として行っています。また学校の夏休み期間中などには、小学校高学年生から中学生及びその保護者の方を対象に、金融経済に親しんでいただくための企画やボードゲームで株式投資を体験する「親子経済教室」を開講しています。2013年度には延べ32,000名以上の生徒・学生・保護者の方々に受講いただきました。

教員向けには、学校の夏休み期間中などに、中学校や高校の先生方を対象として社会科・公民科・家庭科等の授業に役立てていただくことを目的に、経済講演や金融経済教育の実践事例・教材の紹介などを行う「先生のための経済教室」を開催しています。

このようにJPXは、国民各層の金融リテラシーの向上にむけて種々の取り組みを展開しています。提供しているセミナーや学習プログラムについては、JPXホームページ（<http://www.tse.or.jp/learning/index.html>）をご覧ください。



親子経済教室の様相